



TAMA UNIVERSITY

School of Management
and Information Sciences



多摩大学 経営情報学部 ゼミ案内 2022



SEMINAR GUIDE BOOK 2022

- 寺島学長によるインターゼミ
- 経営情報学部専任教員による
34のホームゼミ



▶ 持続可能な世界を実現するために

SDGsとは「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年9月の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、2030年までの達成をめざす17の国際目標です。多摩大学経営情報学部では「SDGs」の17の目標との関連性を明示し、持続可能な世界を実現するため積極的な取り組みを行っています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ゼミindex

グローバルビジネス

| ページ | ゼミテーマ・担当教員 | 関連する SDGs |
|-----|---|-----------|
| 4 | 「スポーツやレジャーを通じて豊かな社会づくりを構想する」 杉田 文章ゼミ | 12 8 3 |
| 5 | 「経営・起業と情報・戦略」 金 美徳ゼミ | 8 10 16 |
| 5 | 「組織行動と企業家精神」 小林 英夫ゼミ | 8 9 4 |
| 5 | 「日本経済論 ~少し頭を使って考えてみよう!~」 下井 直毅ゼミ | 8 9 10 |
| 6 | 「複眼的見方と歴史観の涵養 -マーケティング・流通・ベンチャー経営-」 趙 佑鎮ゼミ | 9 8 16 |
| 6 | 「広告、広報、ラジオ番組制作、イベント企画を主とした組織PR・マーケティングコミュニケーション」 中村 その子ゼミ | 17 9 12 |
| 6 | 「組織マネジメント、組織心理学」 浜田 正幸ゼミ | 7 8 9 |
| 7 | 「日本とアジアの『架け橋』になる次世代ビジネス・リーダー養成」 巴特爾ゼミ | 3 4 8 |
| 7 | 「英語・コミュニケーション」 石川 晴子ゼミ | 4 16 17 |
| 7 | 「日本の伝統思想を探る」 高橋 恭寛ゼミ | 4 3 9 |
| 8 | 「企業の人材マネジメント」 西村 知見ゼミ | 8 10 5 |
| 8 | 「『仕事・働くこと』の探求」 初見 康行ゼミ | 4 8 9 |
| 8 | 「世界経済と移民社会から現代日本を考える」 水盛 涼一ゼミ | 10 8 11 |
| 9 | 「心理学から『買う』『売る』『見せる』を考える」 加藤 みずきゼミ | 3 12 4 |
| 9 | 「現在はグローバル時代! 海外事情に強くなるう!」 小林 昭菜ゼミ | 16 12 11 |
| 9 | 「社会環境構築 ~AI 自動運転・防犯設計・防災~」 樋笠 堯士ゼミ | 9 11 16 |

ビジネス ICT

| ページ | ゼミテーマ・担当教員 | 関連する SDGs |
|-----|--|-----------|
| 10 | 「日常生活を拡張する情報技術」 出原 至道ゼミ | 17 9 8 |
| 10 | 「マーケティングを通じた社会貢献」 小西 英行ゼミ | 12 4 17 |
| 10 | 「キャラクタデザインから都市計画まで。デジタルクリエイションと現実社会との融合を図る」 彩藤 ひろみゼミ | 11 12 4 |
| 11 | 「情報社会における倫理」 齋藤 S. 裕美ゼミ | 4 8 12 |
| 11 | 「情報技術で未来を創造」 中村 有一ゼミ | 9 8 4 |
| 11 | 「脳波を計測・分析して心の謎に挑戦」 良峯 徳和ゼミ | 3 9 4 |
| 12 | 「ビッグデータを活用したビジネスにおけるデータ分析と問題解決」 久保田 貴文ゼミ | 4 |
| 12 | 「エージェントベースモデルと社会シミュレーション」 増田 浩通ゼミ | 4 11 9 |
| 12 | 「財務会計」 木村 太一ゼミ | 8 10 17 |
| 13 | 「データサイエンスとイノベーション」 崎濱 栄治ゼミ | 4 8 |
| 13 | 「『数字』で読み解く『企業経営』」 落合 孝彦ゼミ | 8 12 17 |
| 13 | 「情報技術を活用した地域活性化に関する研究」 内藤 旭恵ゼミ | 8 11 4 |

地域ビジネス

| | | |
|----|---|---------|
| 14 | 「生活者の視点を磨き、地域の課題解決に向けて実践的知識を鍛え、高める」 梅澤 佳子ゼミ | 3 11 16 |
| 14 | 「メディア論」 中澤 弥ゼミ | 4 9 12 |
| 14 | 「『プロデュース力をつける』地域をつなぐ力の研究(地域連携、地域金融)」 長島 剛ゼミ | 11 9 8 |
| 15 | 「持続可能な都市・地域活性化政策、観光地経営モデルの構築」 中庭 光彦ゼミ | 11 9 6 |
| 15 | 「ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの事業開発」 松本 祐一ゼミ | 9 11 12 |
| 15 | 「地域のサポーターとしての活動を通じて、地域を元気にするための方策を提案する」 野坂 美穂ゼミ | 11 12 9 |

※関連するSDGsの番号は、ゼミの学びと関連が深い順に掲載しています。

新しい社会に生きる

知の力



▶ 多摩大学が育てる「知の力」

文部科学省では、社会で自立的に活動していくために必要な「学力の3要素」として、「知識・技能の確実な習得」「知識・技能の習得を基にした思考力、判断力、表現力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」をあげています。
人々が100年を生きる時代を迎え、多摩大学では主体性・巻き込み力(ACTIVE)、社会性(CONNECT)、生涯学習力(KEEP ON)という3つの視点で、高校までに培った力をさらに向上・発展させ、社会に貢献する「知の力」を身につけた人材を社会に送り出しています。

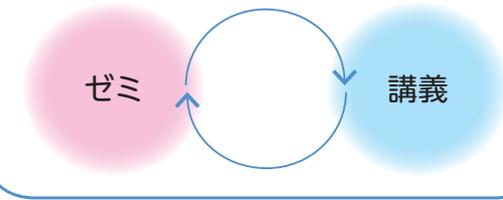


ゼミって何？



多摩大非公認キャラクターほーくん

講義とゼミ、両方の学びで相乗効果が期待できるのだ！



学生主体の学び

ゼミとはゼミナール（演習）の略称。少人数の学生が、指導教員のもとで、研究テーマについて学んでいくもので、多摩大学における学修の中心となります。文献研究やフィールドワークなど、さまざまな手法で研究テーマを掘り下げしていきます。

ゼミの特長

- ◆ 学生主体で学び、自主性が身につきます。
- ◆ 判断力や行動力、決断力などを養います。
- ◆ 広い視野を持ち、能動的に学ぶ人をめざします。

講義の特長

- ◆ 学際性、国際性、実際性を考えたプログラムです。
- ◆ 基礎から専門まで体系的に学ぶことができます。
- ◆ 幅広い教育プログラムを用意しています。

〈ゼミをより知るためのキーワード〉

多摩大学経営情報学部には、プレゼミ、ホームゼミ、インターゼミの3種類のゼミがあり、それぞれ産業社会や地域社会が直面する課題を研究テーマに取り上げ、その解決策を考えるなかで、問題解決の実践力を養います。



経営情報学部では、4年間を通してゼミで学びます。

| 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 |
|--|---|-----|-----|
| プレゼミ | ホームゼミ | | |
| ゼミ入門として、自ら学修計画を立て、主体的に学ぶ態度を身につけるとともに、今後、何を学んでいくのか、将来のキャリア形成を考える機会にすることを目的としています。 | ホームゼミは2年次から4年次まで、指導教員と少人数の学生が一体となり、特定の専門分野について深掘りしていくもので、知識の修得と能力開発を行い、学生の確実な成長を図ることをめざしています。3年間にわたって学ぶことで、産業や地域などに対する関心を広げるとともに、グループワークを通じてコミュニケーション能力を習得し、問題解決能力を高めていきます。また、ホームゼミは、就職活動をサポートする機能も有していることから、必ず履修することが求められます。 | | |

インターゼミ(社会工学研究会)

インターゼミは、寺島実郎学長の直轄ゼミナールで、経営情報学部とグローバルスタディーズ学部の学生、社会人大学院生、卒業生、教員が現代社会の抱える課題について、塾形式で切磋琢磨しながら多様な要素や手法を組み合わせた柔らかな発想で、体系的・総合的な答を志向する総合設計力を身につけることを目的としています。 →詳しくは4ページへ





寺島実郎学長直轄ゼミナール

インターゼミ (社会工学研究会)

テーマ「多摩学」「アジアダイナミズム」

「サービス・エンターテインメント」「デジタル・トランスフォーメーション(DX)」



インターゼミ (社会工学研究会) は、寺島実郎学長の直轄ゼミナールで、毎週土曜日に、九段下の寺島文庫にある多摩大学九段サテライトで実施しています。経営情報学部とグローバルスタディーズ学部の学生、社会人大学院生、卒業生などの約30人が4つのチームに分かれて、「多摩学」「アジアダイナミズム」「サービス・エンターテインメント」「デジタル・トランスフォーメーション (DX)」などの研究テーマについて、それぞれ文献研究とフィールドワークを行い、1年かけてチームとして論文を書き上げます。1つのチームには両学部・大学院の教授が2名以上加わるようになっていて、世代を超えた共同研究が行われています。

インターゼミが九段サテライトで実施されているのは、近辺にさまざまな史跡と神田神保町の古書店街があるからです。ゼミの前後に史跡や古書店街に足を向け、知性と感性に刺激を与えるというねらいがあります。

ホームゼミのテーマ

スポーツやレジャーを通じて豊かな社会づくりを構想する

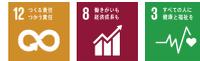
学ぶこと

人生における「余暇と労働の二つの側面」という視点から、社会のあり方、現代社会の消費やレジャーのあり方、スポーツ産業やレジャー産業に対する見識を確立します。また、法律、政治、経済、文化などの各側面から、社会を多面的に見ることを学びます。



杉田 文章 副学長・学部長・教授 *Sugita Fumiaki*
【プロフィール】 筑波大学大学院修士課程体育研究科、多摩大学講師、同助教授、同准教授を経て現職。30年以上にわたり大学や社会人バレーボールチームの監督業を務める。多摩大学体育会フットサル部顧問。
【主な担当科目】 サービス産業論、事業構想論、余暇マネジメント

関連するSDGs



学びのキーワード

- 自分の意見をしっかり持つ
- 当事者意識 ●全体の幸福の追求

身につく力

問題発見力

問題発見力・問題分析力・問題を提言する力

問題解決力

組織的な問題解決力

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「Jリーグクラブの経営に関する研究」「ディズニーの手法を使った街づくり」「温泉リゾート熱海の再生計画」など

めざす就職先

サービス・エンターテインメント関連企業（観光、テーマパークなど）、スポーツビジネス関連企業、その他金融、運輸、通信、小売、など広い範囲に就職しています。

ホームゼミのテーマ

経営・起業と情報・戦略

学ぶこと

- ①業界・企業研究：製造・IT・商社・金融業界、商品開発・経営企画・マーケティング・経営戦略、アジアビジネス、起業など。
- ②経験知と実践知：ゼミ合宿・企業訪問・地方実習・社会人との交流の機会提供、就活の情報共有と支援、留学と大学院進学への推奨。



金 美徳 教授 Kim Mitoku

【プロフィール】 早稲田大学大学院国際経営学修士・国際関係学博士課程修了。専門は国際経営学・国際関係学、研究領域は企業戦略・グローバル組織人材・アジア経済。

職歴：(株)三井物産戦略研究所。

【主な担当科目】 学部：アジア経済論、韓国経済論、グローバルビジネス入門、特別講座。大学院：世界潮流と企業戦略。

関連するSDGs



学びのキーワード

- 国際経営論 ●国際関係学
- グローバルビジネス ●アジア戦略

身につく力

情報力

世界の政治・経済・経営・社会・文化など幅広い情報収集・分析・発信力を身につける。

戦略力

産業・業界や企業経営の課題解決に必要な、経営戦略やグローバル戦略など、最先端の情報と人的ネットワークを駆使した戦略的思考を身につける。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「日本におけるハラールビジネスの新展開」、「女性インナーウェア市場の現状と課題—ワコールとアジア戦略—」、「Amazonの経営戦略」など

めざす就職先

セブンイレブン、ファンケル、多摩信用金庫、一条工務店、三菱電機、京セラ、キタムラ、ノジマ、トレジャーファクトリー など

ホームゼミのテーマ

組織行動と企業家精神

学ぶこと

- 活動内容は、学生のやりたいことを聞き決めます。プレゼンテーションやディスカッション、仮想株式投資、プログラミング、地域高齢者との交流サロン運営など多岐にわたります。興味を深めることを通じ、物事に向き合う真摯な姿勢を身につけます。



小林 英夫 経営情報学科長・教授 Kobayashi Hideo

【プロフィール】 慶應義塾大学経済学部卒、慶應義塾大学大学院にてMBA、神戸大学大学院にて博士号（経営学）取得。日本IBMを経て、通信ベンチャーのイー・アクセス創業に参画し東証マザーズおよび一部上場へ貢献、携帯子会社イー・モバイル創業も手掛ける。イー・アクセス代表取締役副社長、イー・モバイル執行役員副社長を経て、2013年より多摩大学。

【主な担当科目】 ベンチャー企業論、経営組織、経営情報論

関連するSDGs



学びのキーワード

- インテグリティ ●自律性
- スーパー・ゼネラリスト

身につく力

状況対応力

多分野の内容に広く取り組み興味の幅を広げ、未経験事項に直面した時にも、素早く学び状況に応じた適切な対応がとれる力を身につけていきます。

真摯さ

マネジメントの父ドラッカーが、マネジャーの唯一の必要資質と指摘する「真摯さ」を、さまざまなゼミ活動や対話を通じて身につけていきます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「事業計画書の作成」「キャリアマネジメント理論の変遷」「技術進化がモチベーションに与える影響」「ドローンによる空撮動画作成」など

めざす就職先

特に業種を特定しない事業会社の営業職・企画職・事務職、IT関連企業のエンジニア、ベンチャー企業、起業 など

ホームゼミのテーマ

日本経済論 ～少し頭を使って考えてみよう！～

学ぶこと

- ミクロ経済学、マクロ経済学のほか、基礎的な統計学の知識を身につけます。身近で具体的な経済・社会現象を取り上げて、データ等を使って論理的に読み解いていくゼミです。テキストを用いて基礎知識の理解を深めた上で、グループ討論を行います。



下井 直毅 教授 Shimo Naoki

【プロフィール】 東京大学経済学部卒。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学。専攻は国際経済学。

職歴：日本経済国際共同研究センター、(独)日本学術振興会、(公財)総合研究開発機構 (NIRA)、ビジネス・ブレークスルー大学大学院

【主な担当科目】 金融論、グローバルビジネス入門、経済統計学、国際経済学、ミクロ経済学

関連するSDGs



学びのキーワード

- 日本経済 ●世界経済 ●読解力

身につく力

分析力

現象を的確に捉え、そこから何が読み取れるのかということ、データ等を使って分析し、結論を導き出す力を身につけることができます。

発信力

ゼミでの発表や討論・議論を通じて、自分の意見や考えを、適切にわかりやすく伝えることができる力を身につけることができます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「今後の日本経済の成長に向けて欠かせない要因は何か」「世界の貧困をなくすには、何が必要なのだろうか」など

めざす就職先

卸売・小売、通信、運輸、金融など、幅広い分野の企業

ホームゼミのテーマ

複眼的見方と歴史観の涵養
ーマーケティング・流通・ベンチャー経営ー

学ぶこと

ケーススタディーを通じて組織論・戦略論・ベンチャー企業論・マーケティング・流通論について勉強をしている。また、「歴史」と「韓国論」を中心とする教養をベースに複眼的見方を備えるようにしている。



趙 佑鎮 事業構想学科長・教授 Cho Woo-Jin
【プロフィール】 韓国延世大学経営学部卒業後、慶應義塾大学大学院商学研究科前期・後期博士課程修了（商学博士）。
職歴：（社）韓国人間開発研究院、（株）かながわサイエンスパーク、青森公立大学
【主な担当科目】 アントレプレナーシップ論、韓国語、グローバルビジネス入門、事業構想論、マーケティングマネジメント論

関連するSDGs



学びのキーワード

- マーケティングマネジメント論
- 小売流通 ● 韓国論

身につく力

構想力

事業構想に必要なものは、複雑な経営環境の先を見通す目、多様な専門と教養領域からの知識を融合する力であり、これらを意識した学習研究を行う。

実践力

問題を発見し、その問題を解決する最も重要な源泉は実践である。そのベースとなる、ヒトと共感する能力と哲学、行動する勇気を涵養する。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「マーケティングマネジメント」「小売流通企業」「サプライチェーンマネジメント」「消費者行動」「韓国企業」「韓流文化」など

めざす就職先

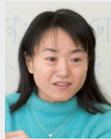
小売流通（百貨店、スーパー）、サービス（ホテル、大手レストラン、介護）、メーカー、IT、マーケティングコンサルタント など

ホームゼミのテーマ

広告、広報、ラジオ番組制作、イベント企画を主とした組織PR・マーケティングコミュニケーション

学ぶこと

- 1) 広告、宣伝、組織PR、メディア発信を中心としたマーケティングコミュニケーション
- 2) 商品・イベント企画を行う際に必要なアイデア着想力、それを実現するための実行力
- 3) 地域密着型企業（組織）と地域活性化、シティープロモーション



中村 その子 教授 Nakamura Sonoko
【プロフィール】 青山学院大学文学部卒。青山学院大学大学院修士課程修了。専攻は言語。
職歴： 関東学院大学、神奈川大学、（公社）国際日本語普及協会
【主な担当科目】 Basic Office English、English Expression、Practical English Conversation、グローバルビジネス入門、問題解決学特講、立志特講

関連するSDGs



学びのキーワード

- 組織 PR ● アイデアと表現力
- 商品・イベント企画

身につく力

商品企画
開発力

自分の意見、アイデア、企画などをしっかりと発信し、自社商品やPRを任された商品の特徴を、説得力を持って効果的に表現、アピールする力。

情報発信と
PR力

地域と世界を豊かに活性化化する事業（商品）を構想し、それを実現していくための傾聴力、企画力と実行力。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「コミュニティラジオ局の地域ネットワーク構築」「多摩地域における世代間交流イベント企画」「地域企業・地域活性化と商品開発」など

めざす就職先

広告、メディア関連、観光、IT関連、サービス、流通、食品、交通、地域密着型企業、公務員、ソーシャルビジネス企業、NGO・NPO など

ホームゼミのテーマ

組織マネジメント、組織心理学

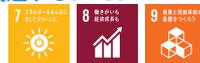
学ぶこと

組織を分析し、その組織の問題解決策を導き出します。すなわち、現状分析、競合分析、ケーススタディをつづじて戦略、アクションプランを策定します。「無」から「有」を生み出す分析と企画提案とそのアクションを繰り返して練習します。



浜田 正幸 教授 Hamada Masayuki
【プロフィール】 多摩大学大学院・多摩大学経営情報学部教授、経営コンサルタント。
職歴： 本田技研工業（株）、（株）野村総合研究所、ベンチャー数社起業
【主な担当科目】 キャリア・デザイン、キャリア・デザイン入門、業界研究、消費心理

関連するSDGs



学びのキーワード

- 会社組織のゼミナール ● 問題発見・解決力 ● 働く力（社会人基礎力）

身につく力

組織で働く力

会社組織を模したゼミで、ゼミ生が社長や各部の部長を務めているので、ゼミ生が自主的に会社（ゼミ）を運営する力がつく。

社会人3年目の
実力

卒業時は社会人0年生ではなく、それをはるかに乗り越えた3年目の実力を修得する。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「インターンシップ意識調査」「就業体験報告書」など

めざす就職先

業種・業界を問わない。入社10年以降は本社機能部門（コーポレート）で活躍できることをめざす。

ホームゼミのテーマ

日本とアジアの「架け橋」になる 次世代ビジネス・リーダー養成塾

学ぶこと

文献研究とフィールドワークを通じて日本企業のビジネスの視点からアジア・大中華圏に関する情報の収集（時事問題、業界・企業など）・分析・発表・提案を行うなど、「伝える力」と「問題解決力」を磨く。研究発表、フィールドワーク、論文（卒業発表）製作を行う。



巴特尔 教授 Baatar

【プロフィール】 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程修了、同博士課程単位取得満期退学（学術博士）。専門は、中国・大中華圏マクロ経済、東アジア国際関係。

職歴：（株）三井物産戦略研究所

【主な担当科目】 グローバルビジネス入門、中国経済論、アジア経済論、特別講座、インターゼミ

関連するSDGs



学びのキーワード

● グローバルビジネス ● 日本とアジア
● 大中華圏 ● 情報分析

身につく力

伝える力

情報の収集・分析力を磨き、自分の考えや意見を他人に論理的かつ説得力のある形で伝える力（コミュニケーション力）を身につける。

課題解決力

文献調査とフィールドワークを通じて日本とアジアの経済動向や特定業界の課題の発見・分析力を磨き、課題解決力を身につける。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「ユニクロはなぜアジアで儲かっているのか」「日本のアニメ産業の現状と課題」「日本のインバウンド～消費拡大のためになすべきこと」「米中貿易摩擦から見るHuaweiとAppleの今後」など

めざす就職先

多国籍企業、造船・海運会社、大手旅行代理店、製造業、貿易、証券、IT、流通、食品、人材派遣業、不動産、大手会計事務所、メディア など

ホームゼミのテーマ

英語・コミュニケーション

学ぶこと

英語力アップのための学習、英語検定試験（特にTOEIC）へ向けた学習、近隣小学校での英語教室などの活動を行っています。人と関わることの多いゼミです。ことばを学ぶことは、さまざまな文化、物の見方、価値観の違いを知ることにつながります。



石川 晴子 准教授 Ishikawa Haruko

【プロフィール】 関東学院大学文学部英米文学科卒、University of York (UK) にてM.A.とPh.D.（言語学）取得。専門は言語学（統語論）。

【主な担当科目】 English Expression、TOEIC、グローバルビジネス入門

関連するSDGs



学びのキーワード

● 英語 ● 異文化コミュニケーション
● 地域社会活動

身につく力

コミュニケーション力

さまざまな年代、背景を持つ人と関わるなかで、相手の目線で考え、相手によってコミュニケーションの取り方を工夫する力をつけます。

柔軟性

地域活動や言語学習を通し、広い視野を身につけるとともに、さまざまなシチュエーションに柔軟に対応する力をつけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「韓国に学ぶ日本の英語教育」「日本アニメがアメリカで人気の理由」「日本におけるオートバイ産業の歴史的考察」 英語教室用教材制作 など

めざす就職先

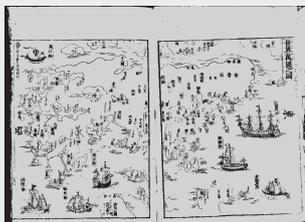
海外に関連のある企業（観光、サービス、IT、教育、広告、流通、メーカーなど）、教育関係 など

ホームゼミのテーマ

日本の伝統思想を探る

学ぶこと

アジアのなかで日本の位置付けを考えていくためにも、材料がなければ始まりません。まずは、日本にはどのような思想・文化があったのか。今の時代を知るために、過去から学んでいきましょう。



高橋 恭寛 准教授 Takahashi Yasuhiro

【プロフィール】 東北大学大学院文学研究科にて博士（文学）を取得。専門は日本思想史・日本倫理思想史・日本教育思想史。職歴：宮城県岩沼市教育委員会、東北大学大学院、東日本国際大学

【主な担当科目】 経営思想史、多摩学、哲学入門、特別講座、ビジネススキル入門

関連するSDGs



学びのキーワード

● 日本文化 ● 多文化コミュニケーション ● 歴史

身につく力

情報収集力

あるテーマについて、自分が何をどのように調べればよいのか、見つけてきた情報の活用も含めた情報収集の力を身につけていきましょう。

発信力

調べた結果、自らがまとめたものをどのようにして他者にもわかってもらえるのか、発表などを通して発信することの大切さを知りましょう。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「外から見た日本のイメージの今昔」「日本のサブカル文化をふりかえる」「21世紀におけるFolkloreの行方」 など

めざす就職先

広告・印刷・出版など情報通信関係、教育・学習支援業、生活関連サービス業、複合サービス業 など

ホームゼミのテーマ

企業の人材マネジメント

学ぶこと

働き方改革やダイバーシティ等を通じ、どのように働く人々の働きがいやキャリアを形成するのか…。これを心理学・社会学的に研究する組織行動論やそのマネジメントを研究する人的資源管理論の理論を用い、実践的な答えを導きだしていきます。



西村 知晃 准教授 Nishimura Tomoaki

【プロフィール】 一橋大学商学部経営学科卒。神戸大学大学院経営学研究科修士課程修了（経営学修士）。三菱マテリアル（株）の人事部門に約10年在籍。給与・賞与・退職金制度／採用・教育を担当。

2002年・社会保険労務士資格取得 職歴：三菱マテリアル（株）
【主な担当科目】 人材マネジメント論、リーダーシップ論、ビジネススキル入門、キャリアデザインⅢ、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

- 人材マネジメント ●分析・診断
- 人事

身につく力

論理的思考

理論を学ぶことで企業内で起こる事象を筋道たてて多角的に捉える視野を養い、新たな仮説や発見を導き出すための論理的思考を磨きます。

データ分析力

組織の人材マネジメント状況をデータで診断する分析手法を練習し、実企業とのコラボレーションによって実践的に研鑽して身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「アメーバ経営によるリーダーシップ成長」「パートのコミットメント形成、会議でのポジティブな雰囲気創造」「アパレルパタンナーの熟達」など

めざす就職先

一般企業、起業、NPO、公務員、病院、介護事業等々、人材マネジメントを要する組織であればどこでも学生の希望に合わせて推薦する。

ホームゼミのテーマ

「仕事・働くこと」の探求

学ぶこと

初見ゼミでは、自分にとっての「仕事・働く」とは何か、ということを探求していきます。社会人へのインタビュー、長期休暇中のインターンシップ参加、気になる業界・企業の分析などを通じて、「働くこと」への理解を深めていきます。



初見 康行 准教授 Hatsumi Yasuyuki

【プロフィール】

学歴：2004年、同志社大学文学部英文学科卒。2011年、一橋大学大学院商学研究科において経営学修士コース修了（MBA）。2014年、単位取得満期退学。2017年、博士（商学）。

職歴：（株）リクルートHRマーケティング、いわき明星大学
【主な担当科目】 キャリア・デザイン、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

- キャリア ●インターンシップ
- アクティブ・ラーニング

身につく力

将来のキャリアビジョン

将来のキャリア・職業に対するビジョンや、「働くこと」に対して自分なりの意味を見出す力を身につけていきます。

就職活動のスキル

インターンシップ等への参加を通して、就職活動に必要な能力・スキルを身につけていきます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「仕事・職業観に関する意識調査」「インターンシップの効果」など

めざす就職先

100年人生を見据え、組織特有の能力ではなく、個人の個性や能力が育まれる企業。ベンチャー企業、商社等、ビジネス全体を俯瞰できる企業

ホームゼミのテーマ

世界経済と移民社会から現代日本を考える

学ぶこと

日本は2007年に超高齢社会（Super-aged Society）の段階へ突入、労働人口の減少は喫緊の課題です。しかも世界人口は増加、国際競争が加速しています。そのような日本の未来を、企業の海外進出および日本への移民から学びます。



水盛 涼一 准教授 Mizumori Ryohichi

【プロフィール】 千葉大学文学部史学科卒、東北大学大学院文学研究科にて修士・博士（ともに文学）を取得。専門は近現代中国の研究。

職歴：東北大学大学院、宮城学院女子大学、東北学院大学、尚絅学院大学、福島大学大学院、宮城教育大学、東京国際大学
【主な担当科目】 グローバルビジネス入門、グローバルヒストリー、中国語、特別講座、インターゼミ

関連するSDGs



学びのキーワード

- 調査（文献・フィールドワーク）
- 体感（視聴味覚） ●発表（成果整理）

身につく力

交渉調査力

文献研究を手始めに、在日外国人取材や各国大使館訪問といったフィールドワークを通して就職後に使える交渉や調査の能力を身につけます。

発表執筆力

調査を踏まえ、折に触れて発表を行い、レポートそして卒業研究を執筆します。その際には多角的でしかも深度を兼ね備える分析をめざします。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「日米企業のCSR・SDGs対応」「アジア圏テーマパーク比較研究」「日中外食産業変遷史」「世界のウェブ配車とタクシー業界の対応」など

めざす就職先

国際関係関連企業（観光・交通・運輸・流通・小売・サービス・不動産など）、公務員、教員、NGO・NPO など

ホームゼミのテーマ

心理学から「買う」「売る」「見せる」を考える

学ぶこと

心理学をベースに、消費者行動・広告・宣伝などの疑問に対して研究活動という形でアプローチしていきます。

調査や実験のやり方を学びながら、各自で自分の興味関心に基づいた研究計画を立案し、データを取ってまとめていきます。



加藤 みずき 専任講師 Kato Mizuki

【プロフィール】 中央大学文学部人文社会科学卒、法政大学大学院人文科学研究科に進学し修士号取得（心理学）。専攻は認知心理学・教育心理学で、主に記憶と感情の関連についての研究活動に従事。

【主な担当科目】 多摩学、特別講座、ビジネススキル入門、マーケティング・リサーチ、インターゼミ

関連するSDGs



学びのキーワード

●心理学 ●認知 ●消費者行動

身につく力

収集・分析力

実験・調査を通じてデータを取り、適切な分析方法で分析し、データから得られた結果についての確な解釈ができるようになることをめざします。

探求力

日常生活のなかにある素朴な疑問を一つの研究計画として追究していくことで、何を明らかにするべきか、そのために何が必要かを考える力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「効果的な広告とは」

「売り上げにもっとも大きく影響している要因は何か」など

めざす就職先

小売、サービス、通信、広告など幅広い分野の企業。

ホームゼミのテーマ

現在はグローバル時代！ 海外事情に強くなろう！

学ぶこと

海外事情を知り異文化を理解することは、グローバル時代の日本では日常的に求められるだけでなく、社会に出たときに「常識」として身につけていなければならない能力です。



ゼミ生個人が各自の好きな国を選択し、それについて調べ、その国の「専門家」としてゼミで活躍してもらうだけでなく、他のゼミ生の活躍から学び、ゼミに居ながらにして他国への理解を深められるようにしていきます。



小林 昭菜 専任講師 Kobayashi Akina

【プロフィール】 法政大学大学院政治学研究科政治学博士取得。ロシア科学アカデミー東洋学研究所およびピッツバーグ大学世界史センター派遣研究員、外務省専門分析員などを経て現職。

職歴：法政大学・大学院、敬愛大学、日本学術振興会 他
【主な担当科目】 グローバル・ヒストリー、国際経営入門、ロシア経済論

関連するSDGs



学びのキーワード

●海外事情 ●国際経済 ●異文化理解

身につく力

情報処理能力

大量にある情報のなかから必要な情報をピックアップする。大量にある情報を読み込み、それを総合的にまとめる力を養う。

問題解決力

自分が選択した情報を基に、与えられたテーマに沿った問題を解決する力を養う。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「アウンサンスーチーの生い立ち」「英国のEU離脱の背景」「植民地下の朝鮮半島」「東西冷戦下のドイツ」「オーストリアのカフェ文化」

めざす就職先

海外展開する企業、商社、情報処理を扱う会社、グローバル展開を模索中の会社 など

ホームゼミのテーマ

社会環境構築 ～ AI自動運転・防犯設計・防災～

学ぶこと

本ゼミは、①「移動」、②「交通」、③「防犯」の面で、多摩地域の「より良い社会環境構築」をするゼミです。交通事故の減少に必要な設備は？犯罪発生場所と「街灯の明るさ」の関係は？犯罪が減る「町なみ」の作り方は？ハザードマップは正しいか？AI自動運転車の試乗体験を踏まえて、多摩ニュータウンのモビリティとサービスの未来は？これらの疑問の調査研究を踏まえて、官公庁への改善意見提案、企業へのビジネス提案を行います。



樋笠 亮士 専任講師 Takashi Hikasa

【プロフィール】 上智大学法学部法律学科卒業。中央大学大学院法学研究科博士後期課程終了、博士（法学）。同志社大学人文科学研究科嘱託研究員、中央大学日本比較法研究所嘱託研究員、嘉悦大学ビジネス創造学部非常勤講師、大東文化大学法学部非常勤講師、中央大学法学部助教、フェリス学院大学法学部ロボット法研究所外国研究員、多摩大学経営情報学部非常勤講師、法務省法務総合研究所委託研究員、名古屋大学未来社会創造機構モビリティ社会研究所特任助教を経て2021年より現職。

【主な担当科目】 法学（憲法）、ビジネス法、特別講座Ⅰ、特別講座Ⅱ、インターゼミ

関連するSDGs



学びのキーワード

●AI 自動運転 ●防犯設計 ●防災

身につく力

問題解決力

社会の問題点を見つ出して、原因を分析し、解決策を具体的に練る力が身につきます。多摩市経済等へのパブリックコメントや企業へのビジネス提案をみんなで行うことで、プレゼンテーションの力はもちろん、対人ビジネススキルの経験が得られます。また、何より、社会の役に立ったという有益な経験をすることができます。

法的思考力

法律の知識で問題を解決する段階的思考である法的思考力（リーガルマインド）が身につきます。企業活動において、問題点・トラブルの背後にある法的状況を把握して、最適なアプローチを選び出す力を、ゼミで磨いていきます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「多摩ニュータウンにおける移動サービス」「マンションや公園の配置と防犯環境設計」「監視カメラと犯罪発生状況の関係」「自動配送ロボットとニュータウン」

めざす就職先

サービス業、AI、観光、まちづくり、建築、運送、小売、自治体職員、警備会社 など

ホームゼミのテーマ

日常生活を拡張する情報技術

学ぶこと

バーチャルリアリティ・画像処理・ウェブアプリケーションなどの技術を中心に、新しい技術を自力で理解してそれを実装し、発表してもらいます。また、フランスの提携校との交流によって、多様性と、その先にある人間性の理解を期待しています。



出原 至道 教授 Idehara Norimichi

【プロフィール】工学博士（東京大学）。多摩大学助手、非常勤講師、助教授、准教授を経て、教授。専攻は、都市工学。第一種情報処理技術者。日本VR学会。

【主な担当科目】IT活用法、Webサービス開発、Webプログラミング、クリエイティブデザイン、経営シミュレーションゲーム

関連するSDGs



学びのキーワード

- 実装力 ●学び続ける力
- 人間性の理解

身につく力

学び続ける力

情報技術はどんどん新しくなるので、社会に出た後も学び続けることが求められます。社会人として、主体的に学ぶための能力を身につけます。

実装力

アイデアを出すだけでは、課題は解決しません。外部のコンテストへの応募を通じて、プロジェクトを管理する力、チームで動く力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「表情の感情認識による対人関係の評価」
「VR技術を利用した変身体験システム」など

めざす就職先

情報技術による課題解決において競争力を持ち、社員が向上心をもって学び続けている組織。

ホームゼミのテーマ

マーケティングを通じた社会貢献

学ぶこと

マーケティングは、今や営利、非営利を問わず、あらゆる組織に必要な活動であり、考え方となっています。本ゼミでは、実際に商品開発や、ビジネスプラン作成、地域貢献活動を実施し、さまざまな角度からマーケティングを実践的に学びます。



小西 英行 教授 Konishi Hideyuki

【プロフィール】慶應義塾大学大学院商学研究科博士後期課程（商学修士）。富山国際大学現代社会学部准教授などを経て2017年4月より現職。

専門は、マーケティング、消費者行動、初年次教育。

【主な担当科目】ビジネススキル入門、マーケティング入門、ITパスポート、ITビジネス入門、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

- マーケティング ●地域社会活動
- 利他心

身につく力

マーケティング力

マーケティングは、提供者と利用者を双方向に結び付ける活動・考え方です。実践を通じてマーケティング力を学びます。

共創力

メンバーが利他心を持ち、互いに尊重し合いながら、新たな問題を発見・解決する活動を通じて、共創力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「100円ショップのマーケティング戦略」「ファストファッションの経営戦略」「無印良品のブランド戦略」「宮崎アニメの経済効果」など

めざす就職先

メーカー、IT関連企業、流通業、公務員 など

ホームゼミのテーマ

キャラクタデザインから都市計画まで。デジタルクリエイションと現実社会との融合を図る

学ぶこと

3Dでキャラクタデザインや都市デザインのできるスキルを身につけ、バーチャル世界への応用やゲーム開発を行う。作成した作品は学園祭や地域イベントで展示発表し、評価をもらって、それをまたプロジェクトにフィードバックしていく。



彩藤 ひろみ 教授 Saito T. Hiromi

【プロフィール】東京大学大学院工学系研究科都市工学博士課程修了。工学博士（東京大学）。東京大学先端科学技術研究センター・都市環境システム分野助手などを経て現職。一級建築士。専攻は都市工学。

【主な担当科目】IT活用法、クリエイティブデザイン、プログラミング入門

関連するSDGs



学びのキーワード

- 3DCG ●VR
- ゲーム研究と開発

身につく力

企画力

展示作品を作るときは、何が求められているか、何を提供するかを充分練り上げる企画力が必要である。年2回のプロジェクトで企画力を鍛える。

発信力

作品は自己満足になってはいけない。プロジェクトを繰り返し実施し、フィードバックすることで何をどうやって発信するかを学んでいく。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「大学の教室棟の3DCG化」「VR鬼ごっこゲームの開発」「大学近所の神社をテーマにしたアニメーション作成」「VTuber研究」など

めざす就職先

IT関連企業、CG制作会社、Webデザイン会社、映像プロダクション、広告・印刷・出版、システム開発 など

ホームゼミのテーマ

情報社会における倫理

学ぶこと

情報モラルやメディアリテラシーについての知識の修得、問題意識の醸成と問題の発見・分析、問題解決方法の考察を行うことを通じて、社会に出て必要となる基礎的理論や考える手法、文章力を身につけます。卒業論文は論文集としてまとめています。



齋藤 S. 裕美 教授 *Saito S. Hiromi*

【プロフィール】東京学芸大学教育研究科修士課程修了。湘南国際女子短期大学などを経て2007年より現職。学科の講義科目のほかに教職課程も担当している。

【主な担当科目】教育原理、情報科教育法、情報と職業、情報倫理、経営とセキュリティ、データベース等。

関連するSDGs



学びのキーワード

- 情報モラル ●プライバシー ●メディアリテラシー

身につく力

調査・分析力

アンケートやインタビューの設計などさまざまな調査方法と、統計など分析方法、根拠を示した上で結論を引き出す分析力を身につけます。

論理的思考力

分析した結果などをレポートや論文、スライド資料などで表現することで、論述する力と論理的思考力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「課題作成における著作権意識の分析」「携帯電話の普及と大学生の漢字能力の変容」「マイナンバー制度の不安解消策に対する意識調査」など

めざす就職先

情報処理、通信、情報サービス、小売・サービスなどの企業、高等学校情報科の教員 など

ホームゼミのテーマ

情報技術で未来を創造

学ぶこと

研究分野は主に、システム設計とプログラミング、ネットワーク関連のサービス構築、組み込み関連の機器の開発などで、そのほかに情報社会論、技術論など、社会的な分野もカバーしています。



中村 有一 教授 *Nakamura Yuichi*

【プロフィール】東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻修士課程修了（工学修士）、同第1種博士課程退学。東京大学工学部都市工学科助手などを経て現職。現在主に、地域間の情報交流の分析およびモデル化の研究を推進中。

【主な担当科目】コンピュータ概論、コンピュータネットワーク活用、情報工学概論、プログラミング入門

関連するSDGs



学びのキーワード

- コンピュータ ●ネットワーク ●プログラミング

身につく力

自立性

自分で課題を発見して、必要に応じて手法を学び、解決する能力を養う。参考文献を理解して、文章にまとめ、発表できるようにする。

独自性

一般的に社会に流布していることに疑問を持ち、自分で調べ納得がいかないことは、安易に信じない。全体像を捉えることを目標とする。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「野球のデータ活用について」「インターネットにおける広告の課金方法について」など

めざす就職先

IT関連（システム設計、プログラミング）、サービス系、情報メディア系 など

ホームゼミのテーマ

脳波を計測・分析して心の謎に挑戦

学ぶこと

心と脳について最新の知見を学び、脳波計を用いて脳波を計測することで、さまざまな心の状態がどんな状況下で生じるかを、実際の実験を通して学びます。脳波の活用が日常生活やビジネス、コミュニケーションに与える可能性についても学びます。



良峯 徳和 教授 *Yoshimine Norikazu*

【プロフィール】リーズ大学大学院（イギリス）哲学部修士課程修了。筑波大学大学院哲学思想研究科博士課程哲学専攻（文学修士）。2002年東京工業大学社会理工学研究科博士課程修了（学術博士）。湘南国際女子短期大学専任講師などを経て現職。

【主な担当科目】ITコミュニケーション入門、Webデザイン、社会心理、特別講座、ビジネス数学基礎

関連するSDGs



学びのキーワード

- 脳波 ●心理 ●生体データ

身につく力

企画力

何を明らかにしたいかを考え、そのためにどんな実験を行い、得られたデータをどのように分析すれば良いかを考えることで企画力が身につきます。

コミュニケーション力・実践力

実験研究は1人ではできません。役割分担したうえで、不慮のアクシデントにも対応できるよう助けあい、最後までやり抜く力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「バイノーラルサウンドが脳波に与える影響」「光の色が脳波に与える影響」「VR映像と通常の映像が脳波に与える影響の違いについて」など

めざす就職先

医療・健康・福祉関連企業、広告関連企業、化粧品関連企業、化学製品製造業、IT関連企業、エンターテインメント関連企業、各種サービス業 など

ホームゼミのテーマ

ビッグデータを活用したビジネスにおけるデータ分析と問題解決

学ぶこと

ビッグデータを活用するためのスキルを学ぶとともに、その背景となる統計的思考を身につけます。



久保田 貴文 准教授 *Kubota Takafumi*

【プロフィール】 岡山大学大学院自然科学研究科修了。同大学大学院環境学研究所において博士（学術）を取得。岡山大学法学部、統計数理研究所リスク解析戦略研究センターなどを経て現職。日本計算機統計学会評議員。

【主な担当科目】 ITビジネス入門、データサイエンス、ビジネス数学、ビジネス数学基礎、プレゼミ、インターゼミ

関連するSDGs



学びのキーワード

- ビッグデータ ●データサイエンス
- 人工知能

身につく力

ビッグデータ
活用力

多種多量のビッグデータを分析することで未来の予測や異変の察知等を行い、顧客のニーズに即したサービスを提供できる分析力を養います。

統計的思考力

得られたデータの視覚化や分析結果の考察により、統計的に思考する力を養い、それによりこれまで見えていなかった事象を見える化します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「図書利用状況の視覚化と時系列クラスタリング」「テレビ視聴データを用いたSNSと親和性の高いテレビ番組の傾向」など

めざす就職先

サービス・インフラ、製造、金融、ソフトウェア・通信、小売などにおけるデータ分析部門 など

ホームゼミのテーマ

エージェントベースモデルと社会シミュレーション

学ぶこと

増田ゼミは2012年にできました。多摩大学フットサル部と同年です。ゼミではプログラミングや社会シミュレーションを中心に基本的なICT分野の勉強をしています。具体的にはPythonプログラミング、EXCELのMOS試験対策、ITパスポートの勉強などをします。



増田 浩通 准教授 *Masuda Hiroyuki*

【プロフィール】 武蔵工業大学（現：東京都市大学）工学部経営工学科卒、東京工業大学大学院価値システム専攻博士後期課程修了。博士（工学）。東京理科大学嘱託助手、東京工業大学研究員・非常勤講師、千葉工業大学プロジェクトマネジメント学科助教を経て現職。

【主な担当科目】 ITコミュニケーション入門、経営科学、経営情報論、情報ネットワーク、多摩学

関連するSDGs



学びのキーワード

- シミュレーション ●論理的思考
- プログラミング

身につく力

情報活用力

経営情報システム、経営科学、複雑系などをベースに、情報を基盤とした実践的なマネジメントの方法論や意思決定の教育を行います。

システム思考力

物事を筋道立てて考える論理的思考や物事の深層での因果関係を明らかにしようとするシステム思考ができる人材を育てたいと考えています。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「多摩地域における防災および避難シミュレーションについて」「多摩大学近辺を対象とした、災害に強いコミュニティデザインの研究」など

めざす就職先

情報通信業、情報サービス業の企業に就職した学生が多いです。過去に多摩大学大学院、青山学院大学大学院に進学した学生がいました。

ホームゼミのテーマ

財務会計

学ぶこと

会計に関するルールがどのような理屈によって支えられているのかを理解し、ルールの妥当性を考える。また、設定される会計のルールに応じて、経営者の行動がどのように影響を受けるのか、会計の情報が誰に、どのように利用されているのかを考える。



木村 太一 専任講師 *Kimura Taichi*

【プロフィール】 専門は財務会計。2019年3月に慶應義塾大学商学研究科博士課程を単位取得満期退学し、2019年4月より現職。複式簿記が会計的表現に与える影響と、その影響下で会計を行う人々がどのような選択を行ってきたのかを研究している。家では生き物係を担当。目下、ミニ胡蝶蘭の育成に精を出している。

【主な担当科目】 財務会計、初級簿記、中級簿記、原価計算、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

- 会計 ●財務情報分析
- 他者との対話

身につく力

対話力

この世にはさまざまな意見があるということを感じ、そしてその上で、問いを立て、それに自分の力で答える能力を身につけます。

財務情報分析力

財務諸表作成と、財務諸表の読み取りに関する基本的な能力を身につけます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「ストック・オプションの会計処理の考察」「会計基準と経営者の行動の関係に関する考察」「財務指標を用いた企業分析の有効性に関する考察」など

めざす就職先

どのような企業であっても会計ができる人は重宝されると思います。仮に、監査法人や税理士法人に就職する際には、会計は必須です。

ホームゼミのテーマ

データサイエンスとイノベーション

学ぶこと

ベンチャー企業などから提供される実際のデータを題材とし、ビジネスに貢献するための実践的な考え方やデータサイエンス手法について学ぶ。また、データを活用し成長するスタートアップ、ベンチャー企業のビジネスモデルやイノベーション事例についてリサーチし、情報社会における先進的な取り組みについて理解し未来を考える力を付ける。



崎濱 栄治 専任講師 Sakihama Eiji

【プロフィール】 横浜国立大学経営学部卒。一橋大学大学院国際企業戦略研究科修了。横浜国立大学大学院国際社会科学府研究院博士課程後期在学。三菱UFJ信託銀行、SPSS Japan、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー、ソシエテジェネラルアセット (Amundi) を経てインターネット広告ベンチャーのイルグルム、ファンコミュニケーションズでデータサイエンスチームを統括。クオンツファンドマネージャーとしては2,000億円超の年金資金を国内株式で運用。
【主な担当科目】 マーケティング・データ分析、データ分析実践

関連するSDGs



学びのキーワード

- データサイエンス ● イノベーション
- スタートアップ (ベンチャー)

身につく力

データ分析
スキル

ビジネスに役立つ実践的なデータサイエンスの手法と活用方法。

情報分析力

1次情報の重要性を理解し、情報を総合的に判断・分析する力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

【ECサイトにおける商品ジャンル推薦手法の検討】「国内エンターテインメントの世界戦略事例の研究～BABYMETAL、ONE OK ROCK～」【大企業とスタートアップによるデータドリブンなイノベーション事例の研究】など

めざす就職先

インターネット関連企業、IT企業、データ分析サービス企業、スタートアップ企業 など

ホームゼミのテーマ

「数字」で読み解く「企業経営」

学ぶこと

数字を用いて企業を読み解く力を養うことをテーマに授業を進めます。財務諸表の読み方・データの加工から株式投資指標まで、ビジネス会計検定試験のテキストに基づき解説し、検定試験合格を視野に入れた指導も行います。



落合 孝彦 教授 Takahiko Ochiai

【プロフィール】 早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了(修士)。明治大学大学院博士後期課程単位取得満期退学。1998年9月青森公立大学経営経済学部に着任。2021年4月より現職。専門は財務管理。
【主な担当科目】 経営学入門、経営分析、ビジネススキル入門、インターゼミ、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

- 経営 ● 財務
- 環境変化への適応

身につく力

情報収集・
分析能力

財務諸表をはじめとした企業に関するデータの集め方、読み方、加工の仕方を学び「企業経営を読み解く力」を養います。

問題発見・
解決能力

データ収集・分析を通じて対象企業の問題点を把握し、その改善方法を探る力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「任天堂の成功と失敗」「コンビニエンスストアの経営分析」「青森県産リンゴの海外輸出とブランド化」「パナソニックの経営戦略」など

めざす就職先

小売業・卸売業・金融業・製造業・サービス業が就職先の業種となります。

ホームゼミのテーマ

情報技術を活用した地域活性化に関する研究

学ぶこと

内藤ゼミでは、情報と経営と地域をテーマにゼミ研究活動を実施します。地域活性化のために、情報技術を活用しPRを実施することや、地元産品による商品企画や商品開発を実施します。地域に飛び出してあらゆる知識を身につけていきます。



内藤 旭恵 准教授 Akie Naito

【プロフィール】 2004年明星大学情報学部経営情報学科卒業、2006年早稲田大学大学院情報生産システム研究科修了、2010年法政大学大学院経営学研究所修了、2017年早稲田大学大学院国際情報通信研究科博士課程単位取得満期退学、2019年博士(国際情報通信学) (早稲田大学) 取得。
2004年～2011年 NECエンジニアリング株式会社、2011年～2012年 目白大学社会学部 メディア表現学科 助教、2012年～2021年 静岡産業大学 情報学部情報デザイン学科 専任講師、2021年～多摩大学 経営情報学部 准教授。
【主な担当科目】 ブランドマネジメント (商品企画)、経営情報論など

関連するSDGs



学びのキーワード

- 情報 ● 経営
- 地域

身につく力

発想力

フィールドに出て様々な調査を実施するため、自ら足を運び、自らの目で見て調査し、現状を理解した上で、あらゆる提案ができるようになります。

行動力

デスクワークのみに留まることなく、フィールドでも活動を実施するため、自らの頭で考えて行動できるようになります。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

【映像表現を用いた地域連携手法に関する研究「Art & Beauty Projectを通して」】
【茶を利用した観光戦略に関する研究】
【地域をPRする商品開発に関する研究】

めざす就職先

「地元企業」や「IT企業」になります。その他にも、東京都や市役所、JAなども対象となります。

ホームゼミのテーマ

生活者の視点を磨き、地域の課題解決に向けて実践的知識を鍛え、高める

学ぶこと

社会学を学び、生活を労働再生産のための場ではなく生活文化を享受する場とし、地域の課題を解決する取り組みを産官学民と連携し実践しています。事業計画や報告書の作成、文献調査、フィールドワーク、論文作成、学内外での研究発表を行います。



梅澤 佳子 教授 Umezawa Yoshiko

【プロフィール】筑波大学大学院体育研究科修士課程修了（修士）後、湘南国際女子短期大学専任講師を経て現職。専門は社会学（レジャー＝生涯学習、地域、スポーツ）。研究テーマは、クオリティ・オブ・ライフ（QOL）を実感できるレジャーの環境、プログラムサービスの開発。社会教育委員、スポーツ振興審議会委員、教育委員等、市町村の社会教育、生涯学習、スポーツ、教育施策に携わる。
【主な担当科目】ライフ・デザイン、スポーツ、スポーツと健康、地域ビジネス入門

関連するSDGs



学びのキーワード

●他者理解 ●地域の課題解決型プロジェクト活動 ●実践知

身につく力

社会力
(社会構想力)

好ましい社会を構想し、作り、運営し、その社会を絶えず作り変えていくために必要な資質と能力、行動力。

共感力
(向社会的行動力)

他者の立場やおかれている状況を理解し、他者が何を考え欲しているかをわかり好意的に思いをよせる能力。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「多摩ニュータウンにおける高齢化社会の現状と課題-ゼミの地域活動からの考察」、[子どもたちにとって安心・安全な外遊びの環境を作る]、「これからの日本におけるNPO法人の重要性について-地域に根ざした住民主体のNPO」など

めざす就職先

社会や地域の課題を解決する企業・団体。これまでの就職実績：流通、交通、IT関連、製造、サービス、不動産、信金、公務員、NPO、起業など

ホームゼミのテーマ

メディア論

学ぶこと

今日の我々は多様なメディアに囲まれて生きている。その歴史的背景を探り、コンテンツ（内容）がどのような影響・効果を受容者に与えるのかを考え、メディアを介したコミュニケーションの可能性を探る。



中澤 弥 教授 Nakazawa Wataru

【プロフィール】早稲田大学文学研究科日本文学専攻卒業（修士）。同研究科博士後期単位取得退学。湘南国際女子短期大学を経て現職。専門は、日本近代文学。
【主な担当科目】現代メディア論、サブカルチャー論、スタディースキル入門、地域ビジネス入門、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

●文化 ●娯楽 ●地域社会

身につく力

収集・分析力

文献・資料の収集やフィールドワークを通して問題を発見し、ものごとを考え、判断する力を養う。

発信力

プレゼンテーションおよびレポートの作成を通して、自らが調査・研究した内容を他者に伝える発信力を身につける。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「『ラブライブ』の聖地巡礼」「『進撃の巨人』実写版のマーケティング」「『エヴァンゲリオン』による箱根の町おこし」など

めざす就職先

小売り・サービスなど。幅広い職種。

ホームゼミのテーマ

「プロデュース力をつける」地域をつなぐ力の研究（地域連携、地域金融）

学ぶこと

名刺を作り、大学から飛び出して実社会のさまざまな事業活動の場に訪問します。同時に、東京多摩地域や神奈川県の産業や行政、地域金融機関の支援策などを研究します。企業やNPO、行政、金融機関のイベントやマッチングをプロデュースします。



長島 剛 教授 Nagashima Tsuyoshi

【プロフィール】法政大学大学院社会学研究科卒業。多摩中央信用金庫入社。2011年価値創造事業部部長、2017年地域連携支援部長。自治体や大学、NPO等とのネットワークづくりに多数関わる。東京都立大学客員教授。一般財団法人日本フィナンソロピー協会理事。2019年から現職。
職歴：多摩信用金庫
【主な担当科目】地域金融論、事業デザイン論、多摩学等

関連するSDGs



学びのキーワード

●地域連携 ●地域金融 ●課題解決

身につく力

現場力

現場ではたくさんのお会いがあります。コミュニケーションしながら質疑を重ねていくなかで力がついていきます。

プロデュース力

自主的に責任を持って活動することで、企画力、構想力をはじめ、社会課題の把握力、実践的な課題解決力を養います。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

東京多摩地域、神奈川県のニッチトップ企業、創業支援の現状と今後、地域金融機関のこれから等、地域+現場+つなぐ力をキーワードにテーマ設定。

めざす就職先

社会課題や地域課題を解決する企業や団体。地域の優良企業、ニッチトップ企業を中心に、行政やNPOなど。将来的には起業も視野に。

ホームゼミのテーマ

持続可能な都市・地域活性化政策、観光地経営モデルの構築

学ぶこと

地域活性化をリスク対策手法と捉え、観光まちづくり、水文化、流通とモビリティ、防災の四領域で地域課題を検討し、対策シナリオを政策として立案します。文献調査、フィールドワーク、シナリオ制作、研究発表、論文制作を行います。



中庭 光彦 教授 *Nakaniwa Mitsuhiko*

【プロフィール】専門は公共政策論、地域政策論、観光まちづくり、開発文化・水文化論。都市や郊外、中山間地の開発政策史研究を続け、人口減少期における地域政策、地域開発リスク、水文化・水政策の比較研究を行っている。

【主な担当科目】地域政策プランニング、地域ビジネスプランニング、地域観光論、地域ビジネス入門、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

- 政策分析 ●フィールドワーク
- シナリオ・プランニング

身につく力

解釈力

ものごとを多様な枠組みで解釈することが、政策立案を左右します。収集した情報を批判的に解釈し表現する能力を身につけます。

企画力

課題を分析するだけでは事実認識で終わってしまいます。それを元に解決のアイデア出し～実現提案に結びつける企画力を磨きます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ

「各地に点在するアクアツーリズムと観光資源としての価値」「観光復興に伴うスタディツーリズムについて」「鉄道を中心とした地域活性化」など

めざす就職先

地域活性化関連企業（流通、観光、交通、広告、IT関連、サービス、不動産、他）、公務員、ソーシャルビジネス企業、NGO・NPO など

ホームゼミのテーマ

ソーシャルビジネス・コミュニティビジネスの事業開発

学ぶこと

将来、創業・起業したい、家業を継ぎたい、企業で商品開発や新規事業開発に関わりたいという学生を対象に事業開発に関する考え方や方法を学びながら、地域や社会の課題を解決するビジネスやしくみを企画し、自分たちで実践していくことをめざします。



松本 祐一 教授 *Matsumoto Yuichi*

【プロフィール】専門はソーシャルマーケティング。学生時代にNPO立ち上げを経験後、市場調査会社で商品開発に携わり2005年から多摩大学総合研究所勤務。2019年4月より現職。多摩地域を中心に企業、行政、NPOの事業開発支援に従事し、セクターを超えた「協創」をコーディネートしている。

【主な担当科目】NPO・NGO論、地域ビジネス入門、事業構想論、事業デザイン論

関連するSDGs



学びのキーワード

- 事業開発 ●商品開発 ●地域活性化

身につく力

事業開発力

地域や社会の課題をとらえ、その解決のためのビジネスやしくみを、コンセプトとビジネスモデル両面から構想する力を身につけます。

協創力

多様な人が集まるチームで成果を生み出すこと、企業・行政・NPOという異質な人たちと協力して新しいものを生み出す力を磨きます。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究・卒業制作テーマ

「不登校が地方創生」「大学版昼寝サロン」「方向音痴向け地図アプリ」「愚痴の言い合える飲食店」「VRデリバリーサービス」など

めざす就職先

起業家・創業者、家業の承継、企業の商品開発・新規事業開発部門、ソーシャルビジネス・コミュニティビジネス、NPO、地方自治体 など

ホームゼミのテーマ

地域のサポーターとしての活動を通じて、地域を元気にするための方策を提案する

学ぶこと

多摩地域のイベント・プロジェクト等へ参加し、地域の方々との対話を重ねることで、地域を元気にするための方策を学生自らが提案します。同時に、「経営学」「産業組織論」を中心に学び、地域を支える産業や個々の企業の役割および重要性を理解します。



野坂 美穂 准教授 *Nosaka Miho*

【プロフィール】専門は、地域振興・経営学（戦略論・組織論）。慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了（経営学専攻）、中央大学大学院総合政策研究科博士後期課程修了（博士：総合政策）。淑徳大学（兼任講師等）、中央大学ビジネススクール助教を経て、現在に至る。

【主な担当科目】地域産業論、経営学概論、多摩学、地域ビジネス入門、特別講座

関連するSDGs



学びのキーワード

- 地域振興 ●経営学（戦略論・組織論） ●フィールドワーク

身につく力

問題解決力

地域の課題が何であるかを発見し、それを明確に定義、その課題を論理的思考によって分析し、解決に向けてできることを考え、実践につなげます。

チーム力

共通の目的を達成するために、自分自身の果たす役割やどのように貢献できるかを常に考えながら行動し、チームメンバー間での信頼を醸成します。

ゼミ生の卒業論文・卒業研究テーマ例

「渋沢栄一の経営哲学」「サブスクリプション型ビジネスモデルの収益性に関する研究」「都市部におけるアンテナショップの役割と課題」など

めざす就職先

製造業、卸売業・小売業、宿泊業、不動産業、飲食・サービス業、人材サービス業 など



多摩大学 TAMA UNIVERSITY

経営情報学部[多摩キャンパス]

SCHOOL OF MANAGEMENT AND INFORMATION SCIENCES

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘4-1-1 tel:042-337-7119(入試課) mail:nyushi@gr.tama.ac.jp



<https://www.tama.ac.jp/>